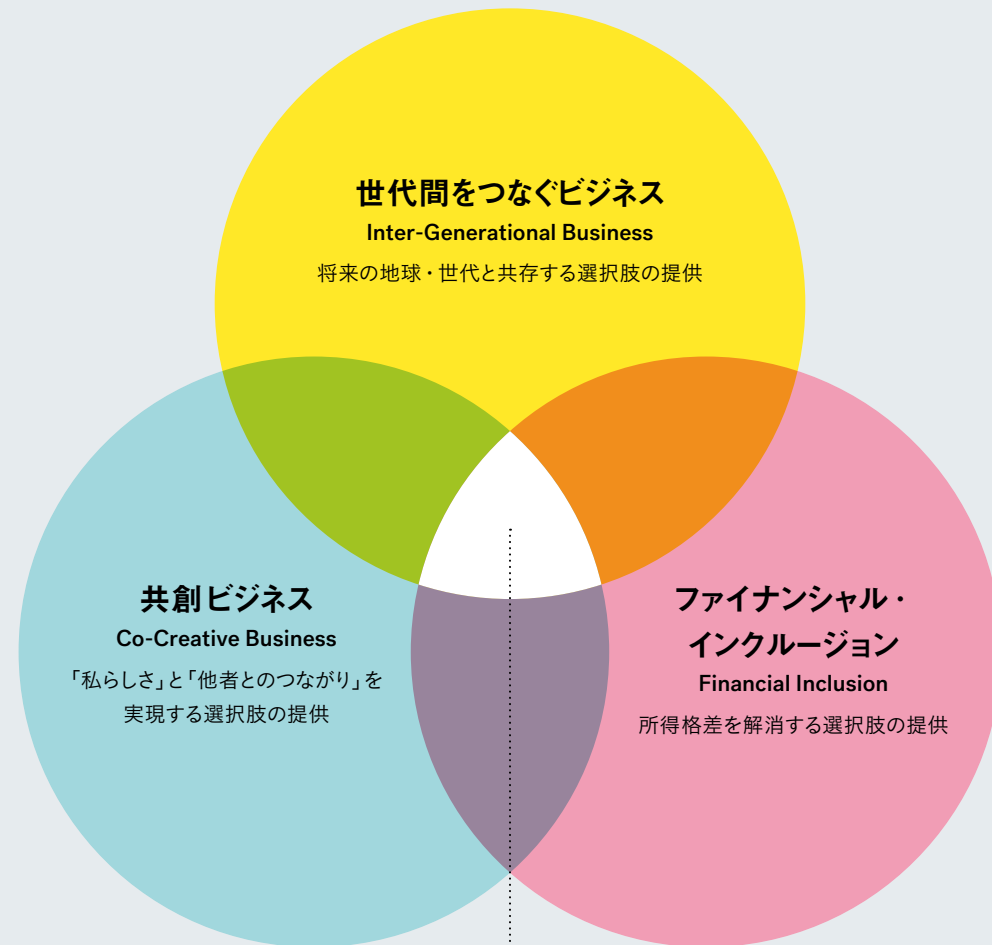


「二項対立」を乗り越えるために
丸井グループができることは何か？

共創を基盤とした3つのビジネスで すべての人の「しあわせ」を拡大



しあわせ

3つのビジネスの重なり合う部分を拡大することが、
すべての人の「しあわせ」の拡大につながり、「ビジョン2050」の実現が可能となる

丸井グループは2050年に向けて、「ビジネスを通じてあらゆる二項対立を乗り越える世界を創る」ために、共創を基盤とした3つのビジネスを設定しました。これら3つのビジネスは、私たちのコアバリューである「信用の共創」をはじめ、既存事業で培った強みやプラットフォームがさらに生きるものです。そしてこれら3つのビジネスは、個々に独立したものではなく互いに重なり合っています。この重なり合う部分を拡大させることこそが、将来世代を含むすべての人の「しあわせ」の拡大につながり、結果として「ビジョン2050」の実現を可能にします。

世代間をつなぐビジネス Inter-Generational Business

2050年の世界では、地球と共存するビジネスだけが生き残ります。また、地球と共存する持続可能な未来を将来世代へとつなげていくためには、30年後の主役である若い世代を育成し、彼らがリーダーとなって社会を動かしていく必要があります。そこで丸井グループは、世代間をつなぐビジネスを「グリーン・ビジネス」と「ヒューマン・ビジネス」に細分化し、将来の地球・世代と共存する選択肢を提供していきます。

see pages 16-23

共創ビジネス Co-Creative Business

2050年の世界では、バーチャル世界の加速や個人主義への反動から、「私らしさ」を大切にしながらも、国や人種による対立を超越した「つながり」を重視するようになります。そこで丸井グループは、社会におけるプラットフォームのような存在として、バリューチェーンに関わるすべてのステークホルダーとの共創により、「私らしさ」と「他者とのつながり」の実現を支える場やサービスを提供していきます。

see pages 24-27

ファイナンシャル・インクルージョン Financial Inclusion

2050年の世界では、世界中の中間・低所得者層に応えるグローバルな巨大新市場が出現します。そこで丸井グループは、すべての人に金融サービスを提供する「ファイナンシャル・インクルージョン」を、現在進めている国内市場だけでなく、海外市場に向けても展開していきます。そして、世界中の人々が抱えるお金に対する不安と所得格差を解消する選択肢を提供していきます。

see pages 28-31